

状況判断に因り例へば次の諸項は情報不充分の儘
或は~~現在~~とは状況変化著しい想定で結論が出され
れたものと考えられる。

- 一、米國の習慣に對する考慮 予算増加率
- 二、米國 英國等に於ける平和利用への進展状況 各社の活動
- 三、新鋭火力発電原價と原子力発電原價の推移比較 清水氏曲線
- 四、米國の平和攻勢の可能性 ガレピング、四ヶ化放出、各社公告
- 五、日本のエネルギー需要推移予測
- 六、日本で政策として何パーセントの獲利増加の電力を
要求しているか 例6%がよいが7%とすべきが
最初は10%として後で落付くが
- 七、日本に於る電力会社及発電所建設業者の習慣 茅ヶ橋輸入 漸次ロイヤリティー掛り
- 八、日本に於る原材料製造業者の従來の実績と今後の見越
- 九、原子力動力利用技術進展の長期予測
- 十、融合反應研究発展の予測

一、状況判断を正確ならしめる方策をとること

A. 状況判断についての委員会 討議会 或は
検討機関の設立

B 外国より更に精しい情報を入手する努力をすること

例(i)調査専門陣の派遣(電力会社、ボイラー会社等)

(ii)外国駐在員へ要する資料の検討

二、或程度の状況判断を假定の下に

総合的原子力平和利用についての具体的方策の検討

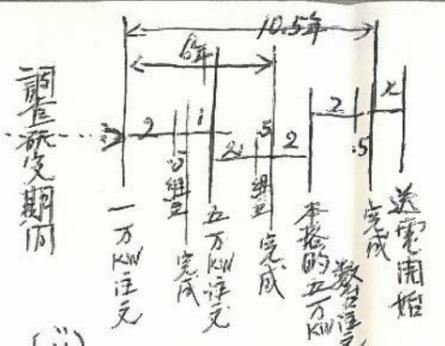
A. (a) 検討委員会又は常置機関(決定権なき立案機関)
の設置

(b) 各グループ別(例産業会議、学術会議等)
に諮問する

題目

(i) 原子力平和利用への基礎的科學及技術
の導入及発展への方策

(ii) 緊急を要する動力炉導入に当つての
過程の検討 及 必要措置



書き

(i) 日本に最もよい導入の方法(まともな技術的に)即ち

日本に根の生える存在方式の検討

○ 如何に種類を授けずるか 誰か、どの責任が、

○ 如何なる順序で 例 一千万 - 五千万 (実績あり) 本格的な五万 数基 どの位か

○ 本格的導入の時機

日本での要非 (電力需給から)

商業ベースから (例 約十年後か)

○ 以上に対する必要なる準備とそれら要する

期間の推定 (例 約十年か)

地域的考慮 (何時頃から 関東関西で並行はせるか)

(ii) 原子力研究所及燃料会社の早し得る役割

及不足部分を如何に処理するか 年次的に

(iii) 科学技術者需給の年次的検討

即導入前後に於ける需率の増加率の予想

設計製作技術者の要非

電力会社側企業技術者及維持技術者の要非

作動従業技術者の要非

(iv) 燃料に対する政治的困難の検討

燃料入手及灰処理

試験動力炉への燃料対策

動力協定への準備 困難点の検討

B 同位元素利用の対策

C 特許に対する処置